

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年6月20日(月) 14:30~16:00
- 3 開催場所 可児高等学校 校長室
- 4 参加者

副会長	太田 紀宏	西可児中学校校長
委員	松井 慶子	元本校PTA役員
	市原 崇光	可児市商工会議所副会頭
	安藤 麻記子	可児市役所産業振興課主任
	菰田 さよ	可児市国際交流協会
	吉田 毅	坂戸地区自治会長
会長	榎野 聡	本校PTA会長 (欠席)
委員	杉浦 浩子	岐阜医療科学大学看護学部学科長 (欠席)
学校側	總山 俊行	校長
	二村 文敏	教頭
	大野 広喜	事務長
	内藤 崇	教務主任
	川島 隆史	生徒指導主事
	山下由香理	進路指導主事

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 授業について(授業参観の感想等)

意見1: 学習の仕方について、机列は全員が前を向いた形なのか。

⇒グループ学習の実施が厳しい状況(コロナ禍)のため前を向いている形が多い。

意見2: プリントやタブレットの活用の状況はどうか。

⇒学校全体で統一するのではなく、生徒の実態、教科の特性や学び方に合った方法をとっている。(要点をまとめたプリントを使用する教員や、授業支援アプリケーションMetaMoJiを活用する教員もいる)

意見3: 高校では教員の説明を聞いて答える一問一答形式の授業進行が多い印象を受けた。

中学校では授業時間のうち生徒に発表させる機会のほうが多い。自由な意見を言えないと、習熟度の低い生徒がどんどん意欲を失って下を向いてしまうのではないか。

⇒高校の教員が中学校の現状(授業)を見たことがないのが課題である。機会があれば是非中学校に赴いて学ばせてほしい。

意見4: 本校は進学校というイメージがあったが、それだけではないという新しい印象を受けた。世の中では授業における生徒の反応が薄くなっていると言われるが、本校の生徒の反応が良かったのが印象的である。

意見5: 私は本校の卒業生である。私が通学していた頃は、毎日の小テストが大変だった。

今日は、授業を受けている生徒が楽しそうで、学校の雰囲気が変わった印象を受け

た。

(2) 本校のスクール・ポリシー及び学校経営計画を踏まえた教育方針・重点について

意見1：個々の生徒に応じた手厚い指導は本校のいいところである。学習につまづいても見守られていると生徒が感じれば頑張ることができると思う。

意見2：入学志願者数が定員を割りこんでいることについて懸念が続くが、焦らなくてもコロナ禍が過ぎ去れば状況はよくなるのではないか。

意見3：勉強だけではなく、人として様々な経験を通して成長できる機会や生徒の興味、関心を広げる土曜講座もおもしろそうで魅力的である。本校の生徒のように自分の子供が育てばうれしい。

意見4：本校は昔からの伝統的な進学校のイメージがある。時代に合わせて守るべきところと変わっていくべきところがあると思うが、地元の住民として協力できることがあれば言ってほしい。

## 6 会議のまとめ

本校の学校運営協議会は、2年間コロナ禍で対面での実施ができていなかったが、今年度の第1回学校運営協議会は対面での協議により、出席した全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について出された様々な意見について協議したうえで承認が得られた。また授業参観も行い、生徒の様子も実際に見て協議が行えたという点で、充実した協議会となった。

今回承認を得た学校運営基本方針を軸として、学校運営を推進するとともに、今後の学校運営協議会での意見や学校評価による生徒、保護者の評価を活かして、改善すべき点やより充実していくべき点を明らかにしていく。